



探究で、外とつながる

1、2年生の「しのめ探究」は、2月20日の最終発表に向けて着々と準備を進めています。12月末に行った調査では、「自らの探究課題に応じて、外部（大学、研究機関、企業等）との接点をもつ」に「はい」と答えた生徒が、1年生3.8%、2年生8.0%。「自らの探究活動を積極的に発信する（外部における発表等）」に対しては、1年生3.8% 2年生6.2%でした。今後、教員からの勧めによらずとも自発的に挑戦し、刺激を受けて成長していく生徒の割合が、もっともっと増えていくことを期待しているところです。1月、2月は探究イベントシーズン。2週連続で県主催のイベントがあり、それぞれに本校生徒が出演・発表しました。今回はその様子を中心に、外に出てつながりをもつ生徒をレポートします。

Shizuoka Tankyu Collection (主催：三菱みらい育成財団)〔ホテルグランヒルズ静岡〕 1月21日(日)



“探究”で串刺しにした、文化祭さながらのイベント。探究発表、成果物等の展示・販売、トークフォークダンスetc.で来場者を楽しませます。メニューの一つにあった「SDGsエシカルファッションショー」の“制服ランウェイ”に1年生2人がエントリー。堂々としたパフォーマンスで、富士東高校の制服をアピールしました！ 客席から「あっ、この制服かわいい～！」という声も聞こえてきましたよ。



J.N.さん

- ①1人1人がこの企画に力を入れていて静岡県をもっと活性化していきたいという気持ちが大きいなど強く感じました。
- ②自分たちの制服を輝かせるとともに、新しい出会いや発見があるものだと思います。
- ③今回の制服ランウェイで一步踏み出すことができたので、苦手だった人前に出ることを恐れずチャンスをつかんで色んな挑戦をしていきたいです。



M.Y.さん

- ①みんな自分から来た人が多いだけあってオーラとかすごくて、すごく優しい人ばかりで楽しくていい経験でした。
- ②他の高校の制服をまじまじ見るようなことがなかったけど、初めてたくさん見てみて素敵な制服も多かったです。
- ③次もまたいろんな人と関わられるようなことがしたいです。

- ①探究コレクション全体の印象はいかがでしたか？
- ②出場してみて、あなたにとって「制服ランウェイ」とは？
- ③次にどんなことに挑戦してみたいですか？

2年生、フィールドワークに出掛ける〔富士市役所 他〕

1月25日(木)

【目的】現場で得られる専門的な知見（情報・データ）を収集したり、助言を受けたりすることを通して、自らが設定した課題を整理・分析し、その解決に生かす。

富士市役所でインタビューをしました。私たちが考えられない栄養士さんからの視点でのお話を聞くことが出来ました。これからの探究で活用することができそうです。（Tさん）

商工会議所で富士市の商店街や経営状況についてのインタビュー、原因や商店街の今後の未来についてのトークを1時間半ほど行いました。資料を多くいただいたので参考にしたいと思います。（Kさん）



この日は、64グループのうち40グループが調査に出掛けました。得られた成果を今後のために生かそう！

静岡県教育委員会
探究フェスタ (高波北野校舎)

県内高校生が、生涯主体の発表を行い、聴取者と対話しながら学び合うことで考えを深め、高校生の探究的学びの質の向上を図ります。

1月28日 10:00~15:00

場所 プラサヴェルデ コンベンションホールA

スケジュール

9:30~	開場
10:00~10:10	開会式 新校長あいさつ
10:15~10:40	発表①(発表10分、質疑・セッション15分)
10:45~11:10	発表②
11:15~11:40	発表③
11:45~12:40	昼食・休憩
12:45~13:05	発表④
13:10~13:35	発表⑤
13:40~14:30	交流会 県教育委員会から県教育委員が、探究学習についての実践発表を聞いて交流します。
14:35~14:50	交流会 文科省初等中等教育局長が探究学習について講話します。
14:55~15:00	閉会式

当日の会場について

- ・発表の学びの発表者として、参加しやすいためです。
- ・探究のゴールとしてではなく、探究のプロセスのついでに発表、対話をしています。
- ・参加費も不要、途中退席、途中連絡可能です。

主催 静岡県教育委員会
問合せ 教育委員会事務局 054-221-1165 kenkai@ednet.lnshizuoka.jp



10ブースに区切られた会場で、それぞれ【発表10分+質疑応答15分】×5セット。2年生から、2チーム7人が発表の舞台に立ちました。他校生の発表を聞いて質問したり、自分たちの発表に対する他校生からの質問を受けたり、他校の先生からの講評を聞いてハッとさせられたり。池上教育長から直接アドバイスも。校内ではできない体験ができましたね!

「全ての人々が公平に暮らせる社会」

現在静岡県を含む多くの地域で過疎化が起こっています。過疎化が進むと食料自給率の低下などの問題が発生します。また、過疎化が進むということは都市部での過密化が進むということです。全ての人々が公平に暮らすにはこの問題を解決する必要がありますと考え、どうしたら過疎地域の過疎化を防げるかを探究しました。観光産業、移住の観点から大学教授や市役所でのインタビューを元に、実際に静岡県でできる過疎化対策や現在の移住制度についてまとめました。

富士市への
移住大作戦

S.A.さん

- ①高校生それぞれが探究に積極的に向き合っていて、楽しかったです。
- ②自分の主張や意見を発表を通して多くの人に伝えることができ、様々な年代の多様な視点からの意見が新しく自分に発見を与えてくれて良い経験になりました。
- ③今回得た新たな問いをさらに探究したいです。また、今回の探究フェスタのような交流会などに参加したいです。

K.Y.さん

- ①どの学校もスライドや発表がしっかりしていてすごかった。
- ②いろんな学校と接する機会が多くてよかった。自分たちに足りないこととかがアドバイスを通してわかった。
- ③今回の発表を活かして、学校でやる発表に向けて頑張りたいと思います。

Y.Y.さん

- ①年代、高校が違う人と活発に交流できる場所でも盛り上がっていた。
- ②今まで積み上げてきた探究を学校の外で発表することができて、貴重な時間だった。実際に様々な意見に触れることで、新たな課題を見つけることができた。
- ③客観的な意見をもとに、もっとほかのアプローチからの情報を集めて、より説得力のあるものを作りたい。探究成果発表会までにより良いものに仕上げたい。

S.Y.さん

- ①いろいろな学校の発表を聞く機会がなかったので新鮮だった。
- ②いろいろな学校から刺激をもらったので、改善して次に活かしたいと思う。
- ③校内の発表に向けて改善できるところはしていきたい。



キッチン戦隊
ふじいーすと!

「LGBTQ+当事者の方を支援するために高校生の私たちが出来ること」

この探究は、高校生にLGBTQ+に対する理解を深めてもらうこと、そして高校生の私たちが当事者の方を支援するために出来る活動を明らかにすることを目的として行ったものです。まず、LGBTQ+という言葉の説明と高校生のLGBTQ+に対する意識調査について、次に、LGBTQ+の生徒の有無に関わらず今後高校の中で私たちが活動できること、最後に、考えた活動を受けてどのように変化するかについてまとめました。

A.I.さん

- ①全体を通して探究内容はもちろん、発表の仕方やまとめ方、今後への繋げ方など様々なことを学ぶことができました。
- ②自分たちの発表について学校の垣根を越えいろんな視点から感想をもらうことができるので、お互いに問題に対する意識を高められるものだと感じました。
- ③探究フェスタでいただいたアドバイスをもとにもっと探究内容を発展させていきたいです。

W.Y.さん

- ①みんな最初は緊張してる感じがあったけど発表が進んでいくうちに自分はこれを伝えたいんだ!という思いが強くなって色々な視点の考えを聞いてとても楽しかった。
- ②最初は怖かったけど、探究フェスタを通して自分の伝えたいことを相手に伝えるのはすごく楽しかったしもっと分かりやすく伝えられるようになりたいと思った。
- ③もっとみんなにこの探究について伝えたいなと思った。他にも発表する機会があるならやりたいなと思った。自分の心の中で考えてることを言語化することをもっと上手になりたい!!



R.N.さん

- ①色々な学校の色々な角度から見た探究があつてとっても新鮮だった。似ているような探究をやっているけど考えが違ったり視点が異なっていて新しい発見があった。
- ②探究フェスタで校外の友達ができただこと。違う学校の先生の評価を聞いて新しい発見があったこと。違う学校の人の探究に質問を必ずしないといけないのは、大変だったけど、相手の学校の探究をよく考えながら聞くことができたこと。同級生がどんなことに興味をもってやったのか聞くチャンスがあつて、とっても楽しかったです。
- ③もう少しランクアップした探究を試してみたいと思いました。